

京都女子大学大学院文学研究科研究紀要

# 英語英米文学論輯

第1号

## 目次

- 創刊にあたって  
..... 加藤文彦… 1
- Donne: Three Close Readings  
..... Clive Stroud-Drinkwater… 3
- Murky Doings in Mumper's Dingle: George Borrow's *Lavengro*  
..... G. M. Hyde…19
- ミルトンの愛と時——*carpe diem*を中心に  
..... 江藤あさじ…43
- Mrs. Dalloway*における音と風景  
..... 本岡典子…61
- ポストモダン状況における主体の崩壊  
——“Rabbit” Angstrom の場合  
..... 鴨川卓博…73

京都女子大学

2002

## 編集後記

昨年4月、大学院文学研究科英文学専攻に博士後期課程が設置され、それを機会に大学院紀要の英文学専攻分冊が刊行されることになった。院生に論文執筆を勧め、同時に本学における研究（の水準）を世に問おうという趣旨である。誌名を『英語英米文学論輯』としたのは、「創刊にあたって」において加藤文彦教授が述べている、英文学専攻という名称の中身をよりよく反映しようと考えたためである。この専攻につながる者たちが、言語学、記号論から英語と英語で表された思想や文学に至るまでの広い領域で、各自の研究を論文としてここに寄せあつめ、一つの論輯の空間が出現することを願っている。

上述のような紀要の趣旨から、本分冊では投稿論文すべてを学外の委員を含む査読委員による審査に付した。採用の可否のみならず、論文の細部にわたって論評、コメントをつけて、批判に耐えうる論文を掲載しようとの意図からである。創刊号では、学外から、東京大学名誉教授・岐阜女子大学教授亀井俊介、京都大学名誉教授喜志哲雄の両先生に、ご無理をお願いして、加わっていただいた。両先生はお忙しいなか、丁寧にご審査くださり、採否のご判断はもとより、論文の主張、論証法、さらには表現に至るまでコメントしていただいた。これにより、採用された論文も、本誌に掲載された最終的なかたちにすることができた。心からお礼申し上げます。学内からは森晴秀、辻裕子両教授と紀要編集連絡委員として鴨川が加わった。

執筆者を紹介する。Clive Stroud-Drinkwater: 本学教授、博士後期課程担当。G(eorge) M. Hyde: 本学教授、博士後期課程指導教授、江藤あさじ: 博士後期課程英文学専攻1回生、本岡典子: 博士後期課程英文学専攻1回生、鴨川卓博: 本学教授、博士後期課程指導教授。

次号はさらに充実したものになることを期待しつつ。(2002年2月21日)

大学院紀要編集連絡委員 鴨川卓博

英語英米文学論輯 京都女子大学大学院紀要  
文学研究科英文学専攻

---

2002年（平成14年）3月31日発行  
第1号

編 集 京都女子大学大学院文学研究科  
英文学専攻（博士後期課程）

発 行 京 都 女 子 大 学  
〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35  
電話 075-531-7051（代表）

印刷者 株式会社 同朋舎  
〒600-8805 京都市下京区中堂寺鍵田町2  
電話 075-361-9121

---

# English and American Studies

JOURNAL OF THE GRADUATE SCHOOL  
KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY

No.1

## CONTENTS

- Prospectus  
..... Fumihiko Kato ... 1
- Donne: Three Close Readings  
..... Clive Stroud-Drinkwater ... 3
- Murky Doings in Mumper's Dingle: George Borrow's *Lavengro*  
..... G. M. Hyde ...19
- Love and Time in Milton: *carpe diem* in *Comus*  
..... Asaji Eto ...43
- Sound, and Imagery of Nature in *Mrs. Dalloway*  
..... Noriko Motooka ...61
- Subjectivity in Postmodernity:  
The Case of "Rabbit" Angstrom  
..... Takahiro Kamogawa ...73

Kyoto, Japan

2002